



2024年  
5月16日  
№4

# 貨物労連情報

日本貨物鉄道労働組合連合会  
発行人:高木康之  
編集人:辻井寛明

## 第22回単組間交流会を 稲沢地区で開催！

貨物労連は5月13日から14日にかけて、東海地協主幹による単組間交流会を開催しました。東海地区で行なわれるのは2016年5月以来8年ぶりの開催となりました。1日目は、会社より藤本総務部長から東海支社の概要説明を受けた後、稲沢機関区・愛知機関区・稲沢派出・稲沢駅それぞれの職場見学を行ないました。愛知機関区検修庫は、DL・EL・FCがひとつ同じ屋根の下にある全国でも唯一の機関区であり、稲沢派出はエンジン検修に特化した、これも全国唯一の職場です。また稲沢機関区では運転シミュレーターの操縦を行なわせていただき貴重な体験ができ、参加者からも喜びの声が上がりました。



2日目は、平和研修として岐阜県八百津にある「杉原千畝記念館」を見学しました。第二次世界大戦中、外交官であった杉原千畝は日本領事館領事代理として赴任していたリトアニアで、ナチス・ドイツによって迫害されていたユダヤ人に大量の通過ビザを発給し、亡命を手助けしたことで多くの命が救われました。

この二日間を通じて、貨物労連の連帯強化をはかり、また平和についても学び、充実した単組間交流会となりました。

